


平成15年度 子どもゆめ基金  
助成金計画変更承認申請書  
(子どもの体験活動助成)

平成15年8月19日

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長 殿

〒630-8133  
住 所 〒 奈良市大安寺1-23-1  
特定非営利活動法人  
団 体 名 ほっとねっと(HOT NET)  
代表者職・氏名 理事長 伊藤 満 (記名押印) 

平成15年 <sup>5/19</sup> 4月10日付け国青基助第 <sup>5-4</sup> 号で助成金交付の決定通知を受けました助成活動について、下記のとおり助成活動の内容及び経費の配分を変更したので、子どもゆめ基金助成金交付要綱第11条第1項の規定に基づき申請します。

記

1. 助成活動名 ウーとびーと森 夏休み子ども自然探検隊活動
2. 助成活動の変更の理由及び内容  
別紙のとおり
3. 変更承認申請による助成金の増(減)額

	既交付決定額	変更承認申請額	増(減)額する額
助成対象経費(合計)	212,000 円	212,000 円	0 円
助成金交付額	212,000 円	212,000 円	0 円

4. その他

(注) 別紙として、助成活動の変更内容及び助成対象経費並びに助成金の交付額の変更内容の詳細がわかる資料を添付すること。

整理番号 0310414

		団体名				
項 目	変更前(a)	変更後(b)	変 更 後 内 訳			
収入の部	子どもゆめ基金	212,000 <sup>円</sup>	212,000 <sup>円</sup>	/		
	助成金交付決定額(A)	212,000	212,000			
	概算払に係る預金利息					
	参加費収入	30,000	11,000			参加費 1,000 <sup>円</sup> × 11人 (当初30人)
	団体負担金	163,000	163,000			
	補助金・寄付金その他の収入					
収入の部総額		405,000	386,000			

事 項・経費項目		変更前(a)	変更後(b)	変 更 後 内 訳	
支 出 の 部	企画・会議費	謝金	60,000 円	60,000 円	30,000 × 2人
		旅費	26,000	26,000	2,000 × 13人
		会議費			
		企画会議費計	86,000	86,000	
	子どもの活動費	印刷製本費			
		通信運搬費			
		借料損料			
		消耗品費			
		雑役務費			
		子どもの活動費計			
	広報等事務費	印刷製本費	60,000	60,000	チラシ 20 <sup>冊</sup> × 3,000枚
		通信運搬費	16,000	16,000	郵送料 80 <sup>冊</sup> × 2回 × 100箇所
		借料損料	30,000	30,000	会議会場 駐車場等借上げ
		保険料	10,000	10,000	講師・スタッフ 傷害保険
消耗品費					
雑役務費		10,000	10,000	振込み手数料	
広報等事務費計		126,000	126,000		
助成対象経費合計(イ)		212,000	212,000		
助成対象外経費(ロ)		193,000	174,000	活動記録作成費 食料・消耗品費 (別紙→添付)	
支出の部総額(イ+ロ)		405,000 <sup>円</sup>	386,000 <sup>円</sup>		

(再掲)

事 項	変更前(a)	変更後(b)	差額 (b - a)	(b - a) ÷ a × 100
企画・会議費	86,000 円	86,000 円	0 円	0 %
子どもの活動費	-	-	-	-
広報等事務費	126,000	126,000	0	0

整理番号 0510914

## 2、助成活動の変更の理由及び内容

「ひーとびーとの森 夏休み自然探検隊活動」は、当初8月9日に開催を予定し、30人の定員で参加者を募集したところ、25人の参加申し込みがあり、準備を進めていました。ところが折悪しく、台風10号が8月8日から9日にかけて近畿地方に上陸したため、9日の開催は中止せざるを得なくなりました。

予備日を翌10日に設定し、参加者にも告知していましたが、10日に開催をしましたが、当初から「10日は参加できません」という条件付きで申し込みしていた子どもも多数あり、この日の参加者は11人となってしまいました。また当初は3隊にわけての活動を予定していましたが、1隊にまとめた活動になり、河川が増水したため、川での活動プログラムもできなくなってしまいました。

参加人数が減ったため、予定していた記録冊子やCD-ROMの作成も、規模を縮小しました。

ただし、活動自体は子どもたちにも好評で、後日保護者の方から「はじめてのことばかりで、いい経験になりました」等と手紙をいただくなど有意義なものとなったと確信しています。

以上、おしくお願ひいたはす。

【平成 年度新報分】

団体名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

項目	金額	積算内訳
活動経費総額(A)	482000 円	(全活動に要するすべての経費総額を記入してください)
収入の部		
参加費収入(B) (参加者から徴収する経費)	30000 円	参加費 1人1000円×30人
団体負担金(C) (団体の予算から支出する経費)	0	
補助金・寄付金等その他の収入(D)	0	
活動必要経費(E) (A)-(B+C+D)	452000	(補助金・寄付金の場合は、補助予定団体又は寄付予定者等を必ず記入してください。その他広告料収入など活動から生ずるすべての収入を計上してください。)

助成金交付希望額	450 千円	活動必要経費(E)と助成対象経費合計(イ)のいずれか低い方の金額まで希望できます。(千円未満切り捨て)
----------	--------	---

事項・経費項目	金額	積算内訳 (積算根拠のない経費は、助成対象外経費といたします。)		
助成対象の経費	企画・会議費	謝金 90000 円	30000円×3人 (内部構成員に対する謝金は計上できません)	
		小計 円	旅費 26000	2000円×13人
			会議費 30000	10000×3回 (内部構成員のみでの会議費は計上できません)
	子どもの活動費	印刷製本費 150000	活動記録冊子 500円×100冊 活動記録CD-ROM 2000円×50枚	
		通信運搬費		
		小計 円	借料損料	
	支出の部	消耗品費	30000	自然体験用材料等 → 内訳: 虫とり網
			雑役務費	
		広報等事務費	印刷製本費 60000	チラシ 20円×3000枚
			小計 円	通信運搬費 16000
借料損料 30000		会議会場、駐車場等 借用料 → 内訳		
保険料 10000		講師、スタッフ傷害保険 (参加者に対する保険料は計上できません)		
消耗品費 30000		会議用資料代、ガソリン代等 →		
雑役務費 10000	振込手数料、			
助成対象経費合計	452000			
助成対象外経費(ロ)	0	(助成対象外経費の積算内訳は必ず記入してください)		
支出総額(イ+ロ)	482000 円	(活動経費総額(A)と支出総額(イ+ロ)を同じ金額にしてください)		

注1. 雑役務費に計上する場合は、労務内容及び理由書がない場合は、助成対象外経費といたします。

注2. 積算内訳欄への記載項目が多く記入できない場合は、別紙でも構いません。

整理番号

金庫代 →

森原様、

先日はお電話頂きありがとうございました。御確認の点は、以下のとおりです。よろしくお願いいたします。

別紙

整理番号0310414

「ひーとびーとの森夏休み自然探検隊活動」

変更後助成対象外経費 174000円の内訳

- ・活動記録作成費 70000円 (冊子400円×50冊、CD-ROM1000円×50枚)
- ・食材費 32500円 (1300円×25人)
- ・写真フィルム、現像費 2500円
- ・木工材料費 33000円 (3000円×11人)
- ・自然観察用消耗品 (文具、捕虫網等) 22000 (2000円×11人)
- ・食事に伴う消耗品 (箸、竹串、木炭、洗剤、ガスボンベ、お茶等) 6000円
- ・名札、乾電池、ビニール袋等 5000円
- ・救急医療品 3000円

計174000円

### 研修会の企画・実施

「人権学習は固くてつまらない」「大事なのはわかるけど、具体的にどうしたらいいの?」...  
こんな声が聞こえてきそうな今までの人権学習&  
研修。

タテマエではなく、みんなが、お互いにもっと  
つながりあい、ホッペで語り合えるような学習・  
研修はできないものか。

「ほっとねっと」では、ワークショップ形式や  
フィールドワークを積極的に取り入れるなど、多  
様な手法で各種の生きた人権研修をコーディネート  
しています。

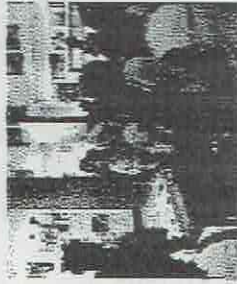
また、これらの研修を進められるようなフアン  
リテーターやインストラクター養成講座も、随時  
行っています。

### 博物館等のガイド

奈良県は、全国水平社の発祥の地であり  
「水平社博物館」があります。「ほっと  
ねっと」では同博物館と連携して、ガイド  
をアシストしています。

また県内の、人権にかかわりの深い他の  
施設について

でも、ガイド  
ドできるよ  
う、研修を  
企画します。



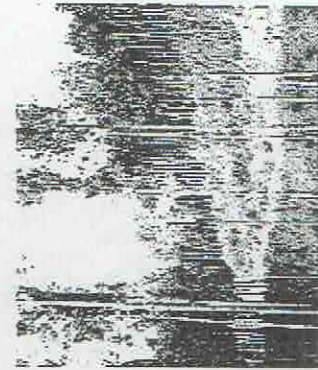
### 人権のためのIT推進

世はIT時代。しかし社会的弱者は情報弱者と  
なつて、さらに弱い立場に立たされるという危  
機にさらされています。

弱い立場にあるものこそ、ITを積極的に取り  
入れ、情報を入手・活用し、メッセージを発信  
していくべきです。

「ほっとねっと」では、パソコン教室やホー  
ムページ作成支援など、ITを人権の視点から推  
進するためのサポートを行っています。

### ひーとびーとの森 開設、運営



日々めまぐるしく変化する  
社会環境の中で、子どもたち  
は(そして大人も)生きるた  
めに必要な力を養われてい  
るのではないか。

生きる力をつちかかうのには  
遊びの時間や場所が不可欠な  
のではないか。

そんなおもいで「ほっとねっと」では、子どもと  
子どもの育ちに関心を持っている人々のための「森」  
を奈良県に開設しました。

「ひーとびーとの森」と名づけて今、手作りして整備  
を進めています。キャンプや自然観察会なども、企画  
していきます。



森にはキイチゴがいっぱい

私たちの活動は、はじめたばかりで、まだまだ  
不十分なものです。  
様々な知識をお持ちで、それを「人権」の確立  
のために生かしたいとお考えの方、私たちに力を  
貸していただけますか。

あなたの積極的な参加をお待ちしています。

What is HOT-NET?

ほっとねっと

ってなに？

- ほっとねっと (Hot Net) は…  
ほっとねっと (Hot Net) は、Humanrights Organizer's Tenderhearted Network の略で、今求められている人権の時代を、やさしい心のネットワークによってつくり出していこうとするものです。
- あつくてやさしい気持ちをつないで…  
「Hot Net」と英語にすると、熱い心意気が、「ほっとねっと」とひらがなにすると、ホッとしたい人が集まれる場、という願いがわかっていただけだと思います。
- 人権の時代を…  
ほっとねっと (Hot Net) は、みんながかがやける人権の時代を、私たち自身の手で実現していくことをめざすNPOです。

■設立趣旨 (抜粋)  
私たちは、2000年12月に「人権教育及び人権啓蒙の推進に関する法律」が制定されたこと、また奈良県において「奈良県教育のための国連10年」奈良県行動計画、「奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する条例」などができたことをうけ、これらの趣旨にのっとり、広く奈良県民に対して人権の啓蒙・啓発の活動等に関する啓蒙や社会教育等の事業を行い、すべての人の人権がさまたげられることのないまちづくりの推進を通じて、差別の撤廃、男女共同参画社会の形成及び若くは若者の健全育成に寄与したいと願っています。  
今後私たちの活動が、より幅広い展開をし効果をあげるためには、法人格を持ち社会に認知され、信用を得ることが重要であり、NPO法人を設立するものであります。

OUR PROJECT

ほっとねっとの活動

- 研修会の企画・実施
- インストラクター養成
- 博物館のガイド
- 人権のためのIT推進
- ひーとびーとの森開設・運営  
...etc

いっしょに活動しませんか？

どなたでも  
会員になっていただけます。  
年会費 3,000円  
入会金 5,000円

●お問い合わせ

ほっとねっと(HOT-NET)  
理事長 伊藤 演  
630-8133  
奈良市大安寺1-23-1  
泉解成センター2F

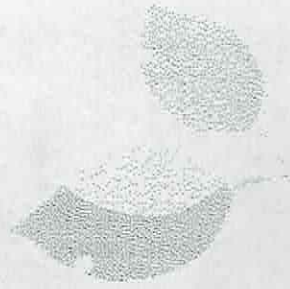
- TEL 0742-64-0015
- FAX 0742-64-1840
- e-mail hotnet@bihara.com
- URL <http://www.bihara.com/hotnet/top.html>

人権NPO

(奈良県児童福祉協会)

ほっとねっと

HOT-NET



人権の時代へ！

私たちがフロンティア

Humanrights

Organizer's

Tenderhearted Network

# HOT NET PRESS

2002.12.1 第5号

編集・発行 ほっとねっと

奈良市大安寺 1-23-1

代表 伊藤 満

● tel 0742-64-0015

● email hotnet@blnara.com

● HPurl <http://www.blnara.com/hotnet/top.html>

## 全国の人権 NPO と交流 NPO の時代を再確認

ほっとねっとの取り組みを  
紹介する伊藤理事長



.....  
西郷隆盛、大久保利通など明治維新の中心人物を生んだ鹿児島で、10月18日、全国の人権NPOの交流会が行われ「ほっとねっと」からも4人が参加し、取り組みの紹介や情報交換を行いました。  
.....

この交流会は、10月17日から19日にかけて、鹿児島で部落解放全国研究集会が行われたのを機に、大阪・和泉市でいち早く人権NPOを立ち上げた「DASH(ダッシュ)」からの呼び掛けで開催されたもので、大阪、三重、兵庫、鳥取などの参加者と交流を深めました。

「DASH(ダッシュ)」理事長の広瀬聡夫さんは「今、全国で7000をこえるNPO法人が設立され、『NPOバブル』といわれるような状況が広がっているが、安易に行政に依存したりするケースも見られる。自分たちが自己変革・自己進化を遂げ、知恵をつけること。そのことなしに他との協働、ネットワークは語れない」とあいさつ。「ほっとねっと」からは「博物館ガイド」「人権のためのIT推進」「人権研修のコーディネート」「ひーとびーとの森」の4つの分野の取り組みを紹介しました。

交流会を仕掛けた「DASH(ダッシュ)」は、和泉市から委託をうけて市人権文化センターの管理・運営を進めているほか、和泉市内の人権ゆかりの地をガイドする「ダッシュツアー」、市内の人権団体のネットワークなどに取り組んでいます。また、他の府県でNPOを立ち上げて活動をはじめているところ、準備をすすめているところとも交流させていただき、大いに元気づけられました。

こうした交流や出会いの一つ一つが、私たちの知恵となり、力となっていくはず。明治維新でも、

水平社の創立でも、「なんとかしなければ」という個人個人のエネルギーとそのネットワークが歴史を動かしました。人権の時代へ。一人ひとりの知恵と力を結集しましょう！

### 森の材料で クリスマス・リース作りしました



12月1日は、「ひーとびーとの森」にある草花を使って、クリスマスリース作りに挑戦しました。何でもない草花がリースに変身していく姿に感動！今年はずっと、いいクリスマスになるでしょう。

ところで サンタさん、私にも何かプレゼントください〜い(笑)



# 子ども達と「ひーとびーとの森」づくり

## 奈良県児童館協議会の研修会で問題提起

11月21日、橿原中央公民館で開かれた奈良県児童館協議会の研修会で、「ほっとねっと」が取り組む「ひーとびーとの森」の意義について、伊藤満理事長が問題提起を行いました。以下、その要旨を掲載いたします。

### ○子どもたちが本当に遊べる場所を

ひーとびーとの森づくりは、子ども達が本当に遊べる場所が必要だとの思いが一つの大きな動機になっています。いじめ、不登校、学級崩壊など、今子ども達に起こっている問題は、遊びを失っていることからくる部分が多いと考えているのです。

子ども達は、遊び場と遊ぶ時間、友達を失い、集団で遊ぶ経験を奪われています。子ども達は個々に、不自由に、消費的にしか遊べないのです。そうしてコミュニケーションの力や共感、思いやり、自己主張、辛抱することなどを学ぶ機会を失っています。

ひーとびーとの森は、自然環境の大切さを学ぶとともに、子ども達が豊かに遊ぶことができる場所づくりを目指しています。もちろんこうした遊び場は、住んでいる地域にこそ必要なのですが、この森を訪れた子どもとおとな達が遊びの楽しさと大切さに気づくことのできる場にしたいのです。

ひーとびーとの森は、橿原町八滝にある12000坪の森です。杉・桧の植林地であったのですが、台風の被害を受けて倒れた木が取り除かれ、光が入るようになって、もともと生えていた雑木が育ち始めています。

### ○自然がいっぱい！

春にはタラの芽やワラビが出ます。初夏には木イチゴがたくさんなり、ジャムづくりができます。秋にはヤマイモのムカゴがなります。そして、冬に向かって今フユイチゴが実を付けています。

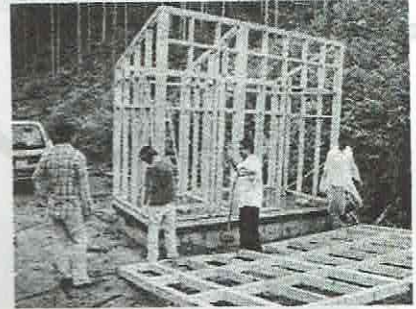
今年5月に森を借りてから、最初に簡易水洗のトイレをつくりました。森の中の沢から水を引き、自力でトイレ棟を建設しました。現在、小さな小屋を建て始めていますが、炊事場やテントサイト用のデッキづくり、キャンプができるようにしたいと考えています。



また冒険遊び場をつくるために、小径木を伐採し皮をむいて、遊具の材料を蓄えています。どんな遊具をつくれればいい

のか、子ども達のアイデアを欲しいと思っています。

そしてこのような作業の日には、火をおこして野外料理をつくります。たき火を起こすこと、料理を作ってみることも楽しみながら学んでいます。近いうちに、パン焼き窯や炭焼きの窯が欲しいなど言ったりしています。



### ○ドングリを育てて…

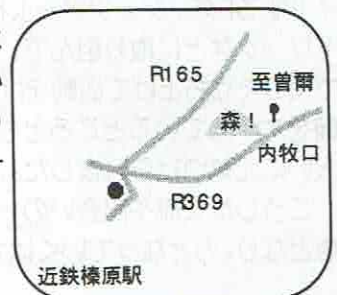
私たちはいろんな樹種の木がはえる森にしたいと思っています。春には山菜が採れ、夏に涼しい木陰ができ、秋には鮮やかに色づき、木の実が実る森をつくりたいのです。そのために、時折草を刈り、伸びようとしている樹木に光を与えてやらなければなりません。また、森に植えるためのクリやくヌギ、クルミの苗を育てています。

### ○森づくりそのものを楽しむ、みんなの森

私たちは、森をつくること自体の楽しさを多くの人々と共有したいと考えています。こうした経験が地域でのまちづくりやひとづくりに大切だと思うのです。「ひーとびーとの森」という名前は、人々の森、みんなの森という願いを込めています。

今日お願いした苗木づくりをはじめ、ぜひとも森づくりに参加をお願いしたいと思います。

ひーとびーとの森についての詳しいお問い合わせは、「ほっとねっと」(TEL 0742-64-0015)まで。



## 投稿、寄稿

「ほっとねっと」のメンバー、およびその関係者が、最近の出来事について投稿してくれましたので御紹介します。

### ○「つねにみずからをふりかえることから」 ～大阪教育大「自らををくぐらせる」実践交流会 (N・K)

10月12日、13日にわたり、大阪教育大学で、同大学教育実践総合センター主催(開催協力/地球市民教育センター)の「自らををくぐらせる 地球市民・人権教育実践交流会～足元からグローバルな課題まで」が開催されました。

事務局の森実さんは、集会の趣旨について『世の中には〇〇問題がある、これは大きな問題だ、だから私はその問題に取り組む』これはもっともな論理です。けれどもこの論理では実りある取り組みになりにくいのです。また『私は〇〇問題の被害者だ、だからこの問題に取り組む』これももっともな論理です。けれどもこの論理だけでは実りある取り組みが必ずしも広がっていかないのです。少なくとも二つ以上の複数の課題について、被害者と加害者の両面から自らをふりかえり、自らの問題の中に社会の問題を発見する。この作業が不可欠だと言うのが今の私の結論です』と語っています。タテマエ(それはそれとして評価しますが)ではなく、それぞれが、自らの課題として考えることなしには、どんな問題も広がり、深まりを持ち得ない。そして自分自身は、女性差別や外国人差別、障害者差別等々、さらにいえば〇〇問題と認知されずとも、息ぐるしい思いをしている人たちとどのように関わりを持ってきたのか。また、部落の中に存在する複合差別をどのようにとらえてきたのか。こうしたことをふりかえる意味で、私も参加することにしました。

全体で200人をこえる参加者があり、一日目は、『自らくぐらせる』ワークショップと「コーディネートワークショップ」。二日目は分科会に別れてそれぞれの課題を深めるということで開催されましたが、私は「ホリスティック教育入門」と「教材・アクティビティづくり」に参加しました。多くの出会いや発見があり、また緊張のなかにも安心感があって、充実した時間を過ごすことができました。それぞれの内容についてここで紹介するスペースはありませんが、全体をとおしてごく簡単に感想をいえば、①一方的な知識の伝達ではなく、関係性のな

かでこそ認識が深まるということ。②原点は個々人のつながりなのだということ。③つねにみずからを振り返ることの大切さを痛感したということ。私自身がNPO「ほっとねっと」として取り組むにあたっての基本的な立場を確認できたような気がします。部落解放運動で、私たちの中では今「両側からこえる」という事をスローガンにしています。「部落差別の厳しい現実が存在している。これをどうするんだ」「まどうて返せ」と一方的に迫る従来の手法ではなく、部落の内と外の関係、あなたと私の関係をどこちないものにしていくものについて相互に率直に意見交換することからはじめなければならない。そんな思いを強くした体験でした。この交流会を企画し、成功にむけて努力していただいた関係者の皆さんに感謝申し上げます。

### ○檜原市の人権研修で講演

#### 岩川哲さん(メイクルタウンの家代表)

9月13日、僕はメイクルタウンのボランティアの奥正文さんと一緒に檜原市の中央公民館でメイクルタウンのことを講演しました。最初は奥さんがメイクルタウンのことをNHKのプロジェクトX風に紹介をしました。プレゼンといえます。題は「夢があったからやってこれた、夢があるからやっていける」です。中島みゆきの曲にのせてメイクルタウンの結成から現代の活躍を解説したり、僕らの作業風景やたくさんの行事(フリーマーケットやロックコンサートや温泉旅行)のことから、これからのメイクルタウン(法人化することや新しい作業所を作るメイクルタウンビレッジ計画)の色々な説明をしてくれました。

それから僕が話しました。誕生から幼稚園、小学校、中学校、高校時代の思い出から就職願末の苦しみやメイクルタウンで今やっている仕事のこと、将来の夢を語りました。僕は緊張していました。最後まで言いたかったけど、時間切れで言えなくなり、もっと言いたかったので悔しかったです。最後に僕のオリジナル曲を歌いました。題名は「亜希子にラブソング」です。講演は最後まで言えなかったけど、歌も歌えたと本当に楽しかったです。

僕の将来の夢は、プロの音楽家になることです。そのために作詞や作曲、ボーカルの勉強を一生懸命にポチポチとしています。夢が実現できたらレコーディングスタジオを持ちCDを作り、コンサートをしたり、お父さんに親孝行をしたり、素敵な彼女が現れたら結婚もしたいと思っています。これからも夢を大切にしていきたいと思っています。

# 情報BOX

## ○桜井東人権文化センター解放講座

とき 12月10日(火) 午後7時30分～

ところ 桜井東人権文化センター分館

内容 「人権の宝島冒険」の奥田氏をお招きして

今年の3月で特別対策が終了した部落問題。部落差別は今、どうなっているのか。実態は？人々の意識は？私たちはいかに取り組んできたのか、そしてこれから、何をなすべきか？…

こんなことをテーマに、桜井市初瀬の桜井東人権文化センター分館で、12月から来春にかけて、4回の連続講座をほっとねっとでコーディネートすることになりました。

第1回は12月10日午後7時30分から同会館で開催。奥田均さん(近畿大学)に今日の部落差別の現状と今後の課題についてお話していただくことになっています。奥田さんは、一昨年大阪府で取り組まれた部落問題実態調査とその集計・分析作業に関わられた方で、調査結果をもとに部落差別の今がどうなっているのかをまとめた『「人権の宝島」冒険』という本を出版されており、これまでにないユニークな切り口で部落問題についての示唆をいただけると思います。また、これをふまえて2回目以降は、ワークショップでこれからの取り組みの方向をともに考えることにしており、来年1月から2月に開催の予定です。是非御参加を。

詳しくはほっとねっと(TEL 0742-64-0015)もしくは桜井東人権文化センター分館(TEL 0744-47-8434)まで。

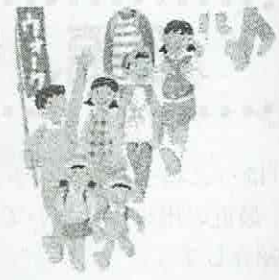
## ○人権ウィーク&人権ウォーク

12月4日から10日は人権週間です。世界人権宣言が1948年の12月10日に国連の第3回総会で採択されたのを記念して取り組まれているもので、県内でも、4日の午後2時よりJR奈良駅前で開催行事が催され、野球解説者の駒田徳広さん(奈良県出身、読売ジャイアンツ、横浜ベイスターズで活躍)を先頭に、街頭啓発が行われる予定になっています。また、8日の日曜日には、県内の人権ゆかりの地を訪ねる第5回人権ウォークが行われます。今回は、JR法隆寺駅前からJR王寺駅までの間にある「法隆寺」「藤の木古墳」「竜田新宮」などを巡る約8キロのコー

スになっています。午後1時集合、1時30分出発。参加費は無料で、記念品ももらえますので、健康と人権確立のために是非ご参加を。部落差別等撤廃と人権確立をめざす奈良県民会議の主催で、「ほっとねっと」

でもこの取り組みをアシストすることになっています。この取り組みにボランティアで協力しようという方も、「ほっとねっと」まで是非御連絡ください。

また、同会議は人権フォトコンテストへの応募も募集しています。詳しくは同会議事務局まで(TEL 0742-64-1631)。



### 人権ウォーク(参加無料)

とき 12月8日(日) 午後1時30分～

集合 JR法隆寺駅(午後1時)

コース JR法隆寺駅からJR王寺駅まで約8\*。

## ○水平社博物館来館者が13万人に！

12/9～1/27までは休館となります

「ほっとねっと」でガイドを担当している(財)水平社博物館は、11月21日で開館以来13万人目の入館者を迎えました。記念すべき13万人目になったのは奈良市立東市小学校の六年生58人と引率の先生一行で、同館の井上邦夫理事から代表の松石康夫さん、吉田佑馬さんに花束と記念品が授与されました。同館は98年5月にオープンしており、4年半で13万人目を突破したことになります。

なお、同博物館は12月19日より来年1月27日まで、部分リニューアルのため休館となりますので御注意ください。「ほっとねっと」のガイドも軌道に乗りつつあり好評を得ていますが、12月17日にはガイドの反省会も開催して経験を交流し、リニューアル後にそなえてさらに研鑽に励むことにしています。さらなる活動に御期待ください。また、近いうちに第2回のガイドボランティア養成講座も開催を計画していますので、「自分もガイドをやってみよう」という方、是非御連絡ください。

「ほっとねっと」では、活動を支えていただける会員やボランティアスタッフを募集しています。詳しくは、下記にお問い合わせを。

奈良市大安寺1-23-1

●tel 0742-64-0015

●email hotnet@blinara.com

●HPurl <http://www.blinara.com/hotnet/top.html>

平成15年度 子どもゆめ基金  
助成金計画変更承認通知書  
(子どもの体験活動助成)

国青基助第15-12号  
平成15年10月10日

特定非営利活動法人 ほっとねっと  
理事長 伊藤 満 殿

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長  
高 為 重



貴殿から計画変更の承認申請のありました助成活動については、子どもゆめ基金助成金交付要綱第11条第2項の規定に基づき、下記のとおり承認しましたので通知します。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森夏休み子ども自然探検隊活動
2. 助成活動の変更内容  
活動内容の一部中止及び参加人数の減少
3. 変更承認申請による助成金の増(減)額

	既交付決定額	変更決定額	増(減)する額
助成対象経費	212,000円	212,000円	0円
(内訳)企画・会議費	86,000円	86,000円	0円
子どもの活動費	0円	0円	0円
広報等事務費	126,000円	126,000円	0円
助成金の交付額	212,000円	212,000円	0円

4. 助成金の交付条件等

平成15年5月19日付け、国青基助第5-4号の交付決定通知書の交付条件を遵守すること。

平成15年度 子どもゆめ基金  
助成金交付決定通知書  
(子どもの体験活動助成)

国青基助第5-4号  
平成15年 5月19日

特定非営利活動法人 ほっとねっと  
理事長 伊藤 満 殿

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長  
高 為 重



貴殿から交付申請のありました助成活動については、子どもゆめ基金助成金交付要綱（以下「交付要綱」という。）第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり交付することに決定しましたので通知します。

なお、この助成金交付の決定に同意しがたい場合は、交付要綱第9条第1項の規定に基づいて取り下げることができます。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森夏休み子ども自然探検隊活動

2. 助成活動の内容

活動範囲	都道府県規模	
活動分野	自然体験活動	体験活動

3. 助成対象経費及び助成金の交付額

(1) 助成対象経費	212,000 円
内訳 企画・会議費	86,000 円
子どもの活動費	0 円
広報等事務費	126,000 円
(2) 助成金の交付額	212,000 円

4. 助成金の交付条件等

(1) 個別に附す条件

(2) 共通に附す条件

- ① 子どもゆめ基金助成金交付要綱及び助成要領を遵守すること。
- ② 助成活動の実施に関する一切の責任については、助成金の交付決定を受けた団体が負うこと。
- ③ 助成活動の内容及び経費配分に変更が生じるとき又はその遂行が困難となったときは、ただちに報告し、その指示を受けること。  
なお、助成要領別表3に規定する次の軽微な変更については、この限りではない。
  - ・活動の目的の変更が伴わない変更
  - ・活動範囲及び活動分野の変更が伴わない変更
  - ・実施期日の変更
  - ・全活動の参加者が募集人数の3分の2を下回らない変更
  - ・事項ごとに積算された助成対象経費の20%を超えない金額の変更（20%を超える金額の変更であっても、その額が5万円に満たない場合の変更を含む。）
- ④ 助成活動において、広報紙等への発表又はポスター、パンフレット等の印刷物を作成する場合は、「子どもゆめ基金助成活動」である旨を掲載し、基金の助成活動であることがわかるようにすること。
- ⑤ 助成活動が完了したときは、すみやかに助成活動実績報告書（様式第11号）を提出すること。
- ⑥ 団体の住所、名称、代表者又は事務担当者を変更したときは、ただちに報告すること。

平成15年度 子どもゆめ基金  
助成金額確定通知書  
(子どもの体験活動助成)

国青基助26-9号  
平成16年1月9日

特定非営利活動法人 ほっとねっと  
理事長 伊藤 満 殿

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長  
高 為 重



貴殿から実績報告のありました助成活動については、子どもゆめ基金助成金交付要綱第18条の規定に基づき、下記のとおり助成金の額を確定します。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森夏休み子ども自然探検隊活動
2. 助成金の確定額 165,143 円

別紙3

様式第11号(第17条関係) その1

平成15年度子どもゆめ基金助成活動実績報告書  
(子どもの体験活動助成)

平成15年 11月 26日

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長 殿

住 所 〒630-8133

奈良市大安寺1-23-1 県解放センター内

団 体 名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

代表者職・氏名 伊藤 満 (記名押印又は署名)

平成15年5月19日付け、国青基助第5-4号で助成金交付の決定通知を受けました助成活動の実績について、子どもゆめ基金助成金交付要綱第17条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動 (交付決定時と同じ活動名)
2. 助成活動の総実施期間  
平成15年 8月10日(日)～平成15年 8月 10日(日) 全活動回数 1回
3. 助成活動の実施状況等 (様式第11号 その2)
4. 助成活動の収支決算等 (様式第11号 その3, その4)

フリガナ きたば よしみ

連絡担当者氏名：北場好美

電 話：0742-64-0015

F A X：0742-64-1640

所 属：ほっとねっと理事

夜間連絡先：0744-23-7745

E - m a i l：hotnet@bllnara.jp

(注) 助成活動により刊行した印刷物又は配布した成果物がある場合は、

1部提出してください。

整理番号 0310414

遅延理由書  
11月26日



体験活動

【活動の実施状況】 ( / 枚中 / 枚) 団体名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

活動名	ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動
活動分野	(子どもを対象とする体験活動)
主なもの	㊦. 自然体験活動      ㊧. 社会奉仕体験活動      ウ. 職場体験活動
1つに◎	エ. 科学技術体験活動      オ. 交流体験活動
他のものに○	カ. その他 ( )
	(子どもの体験活動の支援活動)
	キ. 指導者養成      ク. 振興普及活動
	ケ. その他 ( )
実施期間	平成 15年 8月 10日 (日) ~ 平成 年 月 日 ( ) (1 回)

【活動の参加実績】 外部指導者 (講師) 延べ 3名, 団体構成員延べ 10名  
参加人数 (子ども) 延べ 11名, (大人) 延べ 名

【交付決定時計画】 外部指導者 (講師) 延べ 3名, 団体構成員延べ 10名  
募集人数 (子ども) 延べ ~~50~~名, (大人) 延べ 0名

(活動実施プログラム)

8月10日は、午前9時に集合。日程説明等のあと、ワークショップで子ども自身による講師紹介、参加者紹介、開会宣言で活動を開始。

午前9時30分から、「森をもっとしり隊 (自然観察)」と「虫魚つかまえ隊 (生き物採取)」の活動を一体のものとして実施。自然観察指導員を講師に、「ひーとびーとの森」にある植物、住んでいる生き物を観察して回りました。単に「見る」だけではなく、触り、匂いをかぎ、味わい、五感をフルに使う体で自然を感じるという体験をしました。また、アシナガバチ、クモ、トカゲ、コガネムジ等たくさんの生き物を子ども自身が見つけ、講師に鋭い質問をするといった光景も見られました。

昼食は、「ひーとびーとの森」の特大グリルで、全員が輪になってバーベキューを楽しみ、交流を深めました。

午後1時より、「作ってみ隊 (工作)」の活動にうつり、二人の講師から指導を受け「木の枝ペン立て」と「森のカレンダー」を作りました。失敗しても何度もやり直しができ、道具も、アドバイスするスタッフも豊富にいたので、子ども達は思いきり作品づくりにトライすることができ、最後には全員が思い思いの作品を作り上げました。

午後5時、最後にみんなで記念撮影をして、終了しました。

活動の様子は、9月1日発行の会報「HOT NET PRESS」に掲載し、会員をはじめ各方面に配付するとともに、報告書とCD-ROMを作成、子ども会や児童館に配付するとともに、ほっとねっとの活動紹介等で活用することにしています。

なお、事前準備として6月21日に現地にて下見と打ち合わせ会議を行いました。

(具体的な活動内容等がわかるよう、詳細に記入してください)

(活動実施プログラムの交付決定時との相違点)

当初予定では、8月9日に開催の予定で、子ども約30人の申し込みがありました。当日は台風10号による雨のため開催できず、予備日としていた翌10日に開催しました。日程変更になったことで、子どもの参加人数が減り、3つの隊に別れて活動するという当初の予定を変更して、一つの隊で三つのプログラムをこなすことにしました。また、台風の影響による河川の増水で、川での生き物観察は十分に実施することができませんでした。

計画変更承認済 略に記載済

整理番号 0310414

【活動の実施状況】 ( /枚中 /枚)

団体名

特定非営利活動法人 ほっとねっと

活動名

ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動

(交付決定時と同じ活動名)

(活動場所の概要)

活動場所：奈良県宇陀郡榛原町八流、「ひーとびーとの森」

場所概要：NPOほっとねっとが地主から借りて整備・運営している12000坪の山林。

(指導体制)

指導者名：田代 貢（自然観察講師/NACS-J自然観察指導員奈良連絡会）、阪田はつみ（工作講師/奈良市杏人権文化センター職員）、阪田 順（工作講師/奈良市辰市人権文化センター職員）

指導体制：上記外部講師とNPOほっとねっとのスタッフ10人で子どもの活動をサポート。基本的には子どもの自主性を重視し、自らの体験を通じて自然への興味関心や自立心、協調性を育むと言うねらいから、大人の関わりは、なるべく少なくしました。

(募集活動の実施状況)

募集対象：奈良県内の小学3年生～6年生

募集地区：奈良県内。

募集方法：県内の児童館、子ども会等に案内状を郵送。チラシ3000枚を作成し、関係機関に配付。インターネットでイベント開催のお知らせ。

(活動の自己評価)

当初予定の8月9日は、台風のため翌日に日程変更となり、子どもの参加が大幅に減ってしまったのと、スケジュールを一部変更しなければならなくなったのは残念でしたが、参加してくれた子ども達は、普段できない体験ができた、と大喜びしてくれました。後日、保護者の方々からもお礼の手紙やメールをいただき、やった甲斐があったと実感しています。

子ども達には、自然と触れあうことを通して、自然への興味関心を高め、自然の中で仲間とあそぶことの楽しさを伝えました。子ども達は「ともだちができてよかった」等と感想を述べ、家に帰ってから家族や友人にこの体験を楽しそうに話していることが報告されています。

反省点としては、①急な日程変更のケースをあまり想定していなかったために、人数減や計画変更を生じてしまったこと、②参加者募集で、もう少し関係機関への働きかけ、趣旨の徹底等ができればよかった、等がありますが、ほっとねっとのスタッフもやったことへの満足感が次への自信にもつながり、さらに積極的な活動展開に意欲を燃やしています。100満点で80点ぐらいの評価ができるのではないかと考えています。

(平成14年度以前から子どもゆめ基金の助成金の交付を受けて実施している場合には、その実績をふまえて工夫や改善した点なども記入してください)

(今後の課題)

報告冊子とCD-Rを活用してもらって、さらに「森」での活動展開を積極的にすすめ、子ども達の健全育成と自然環境への興味関心や仲間意識、人権意識の高揚をはかりたいと考えています。

「森」を利用したプレイパーク（冒険遊び場）づくり、や「国連持続可能な開発のための教育の10年」の取り組みなども積極的にすすめていきます。

(その他)

様式第11号 その4

団体名 特定非営利活動法人 ほっとねと

1. 支出の部 (様式第11号その3の金額を記入する)

項 目	金 額	備 考
A. 助成対象経費合計	182,340 円	
B. 助成対象外経費	156,800 円	
C. 支出の部総額	339,140 円	(A+B)

2. 収入の部 (子どもゆめ基金助成金を除く。概算払を受けた団体はその預金利息をここに計上しないこと。)

項 目	金 額	内 訳
D. 参加費収入	11,000 円	1,000円 × 11人
E. 団体負担金	163,000 円	団体負担金
F. 補助金・寄付金等その他の収入	0 円	
G. 助成金以外の収入合計額 ※1	174,000 円	(D+E+F)

※1: G ≥ Bであること。

3. 助成金の算出

(1) 助成金交付決定額及び助成金概算払額 (概算払を受けた団体はその預金利息をここに計上すること。)

J. 助成金交付決定額 ※2	212,000 円
K. うち、概算払を受けた金額	円
M. 概算払により生じた預金利息	円

※2: 「助成金交付決定通知」で示された金額を記入する。

「計画変更承認」を受けた場合は計画変更通知書で示された「変更決定額」を記入する。

(2) 助成金額の基礎

項 目	金 額	備 考
N. 助成対象経費 (利息控除分)	182,340 円	(A-M)
J. 助成金交付決定額	212,000 円	
P. 収支差額 ※3	165,140 円	(C-G-M)

※3: A ≥ Pであること。

(3) 助成金額の確定

項 目	金 額	備 考
Q. 助成金確定額	165,140 円	N, J, Pの最も低い額

4. 助成金精算払金額又は返納額の算出

助成金精算金額又は返納額 ※4	165,140 円	(Q)-(K)
-----------------	-----------	---------

※4: 概算払を受けていない団体はQの数字をそのまま記入すること。

(Q)-(K)がマイナスになる場合は△を数字の頭に付けて記入すること。

整理番号 0310414

体験活動

事 項・経費項目		交付決定時積算額	決 算 額	決 算 額 内 訳	
支 出 部 の 経 費 対 象	企 画 ・ 会 議 費	謝金	60,000 円	60,000 円	外郭指定管理会 20,000円 x 3人 29.7. 横浜13人 命 別紙
		旅費	26,000	26,140	
		会議費	0	0	
		企画会議費計	86,000	96,140	
	助 成 対 象 の 活 動 費	印刷製本費			
		通信運搬費			
		借料損料		3,000	
		消耗品費			材料等
		雑役務費			
		子どもの活動費計			
	広 報 等 事 務 費	印刷製本費	60,000	60,000	47.1. 20円 x 3000枚
		通信運搬費	16,000	29,200	47.1. 申込 袋等物
		借料損料	20,000	1,000	橋原町
		保険料	10,000	0	E-取組と 館 本回 前
		消耗品費	0	0	
雑役務費		10,000	0		
広報等事務費計		126,000	86,200		
助成対象経費合計(A)		126,000 <del>272,000</del>	182,340		
助成対象外経費(B)	174,000	156,800	食費、木工、自然観察等材料費等 内訳		
支出の部総額(C) (A+B)	386,000 円	339,140 円			

(再掲)

事 項	交付決定時積算額(a)	決 算 額(b)	差額 (b-a)	(b-a) ÷ a × 100
企画・会議費	86,000 円	96,140 円	10,140 円	11.79%
子どもの活動費	0	3,000	0	0
広報等事務費	126,000 <del>272,000</del>	86,200 182,340	-29,660	-13.99%

整理番号

0210414

平成15年度子どもゆめ基金体験活動活動収支簿

活動名:

団体名: 特定非営利活動法人 ぽんぽん

No. /

日付	項目	番号	収入	支出	残額	企画・会議費			子どもの活動費					広報等事務費				助成対象 外経費											
						附金	旅費	会議費	印刷製本費	通信運搬費	借料損料	消耗品費	送料旅費	印刷製本費	通信運搬費	借料損料	原簿料		消耗品費	経途消費									
6/1	団体資金引		400,000		400,000																								
6/5	案内状発送	①		4,320	395,680																								
6/21	現地海防世成会様へ	②		11,200	384,480			11,200																					
6/27	" 会費	③		1,000	383,480																								
7/9	案内状追加発送	④		4,880	378,600																								
7/9	案内状追加発送	⑤		14,000	364,600																								
8/1	紙代	⑥		672	363,928																								
"	自然観察用消磁紙費	⑦		2,881	361,047																								
8/6	"	⑧		4,830	356,217																							672	
"	食料用消耗品費	⑨		3,780	352,437																							2,881	
"	"	⑩		3,583	348,854																							4,830	
"	"	⑪		3,742	345,112																							3,780	
"	木工用消費等	⑫		386,985	341,247																							3,583	
8/7	食料用消費品費等	⑬		317,682	39,565																							3,742	
"	木工用消費品費	⑭		1,953	38,612																							386,985	
"	救急医療品等	⑮		1,155	37,457																							1,953	
8/8	救急医療品等	⑯		533	36,924																							1,155	
8/8	食料費	⑰		309,072	36,615																							533	
8/10	食料費	⑱		14,502	22,113																							309,072	
"	食料費	⑲	11,000		11,113																							14,502	
"	27.7.番師.旅費	⑳		24,940	11,173																							11,000	
"	会議金.借入金	㉑		2,000	9,173																							24,940	
"	講師謝金	㉒		60,000	278,630																							2,000	
8/19	47.2.印刷費	㉓		60,000	218,630																							60,000	
9/2	写真現像代	㉔		60,000	158,630																							60,000	
9/30	"	㉕		1,023	157,607																							1,023	
9/30	"	㉖		15,750	141,857																							15,750	
小計																													
合計																													0310414

山岡



平成15年度子どもゆめ基金  
実績報告書遅延理由書  
(子どもの体験活動助成)

平成15年11月26日

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長 殿

住 所 〒 630-8133  
奈良市大安寺1-23-1 県解放センター内  
団 体 名 特定非営利活動法人 ほっとねっと  
代表者職・氏名 理事長 伊藤 満

平成15年5月19日付け国青基助第5-4号で助成金の交付決定を受けました  
助成活動について、下記理由により実績報告書の提出が遅延いたしました。  
今後は遅延することがないように、団体内部の体制を整え対処いたしますので、  
何卒よろしくお願いいたします。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森夏休み自然探検隊活動
2. 遅延理由 8月10日に活動自体は終了しましたが、県内で自然体験活動の裾野を広げるため、活動記録冊子と記録CD-ROMを作成することにしておりましたので、その作業に約3箇月を要しました。何とぞ御理解頂きますよう、よろしくお願いいたします。

整理番号	0310414
------	---------

10/4 再提出

体験活動

団体名 特定非営利活動法人 ぽとぽと

事項・経費項目		交付決定時積算額	決算額	決算額内訳	
支 出 の 部	企 画 ・ 会 議 費	謝金	60,000 円	60,000 円 外部指導者謝金 20,000円 x 3人	
		旅費	26,000	26,140 22.7.講師13人分 別紙	
		会議費	0	0	
		企画会議費計	86,000	96,140	
	助 成 対 象 の 活 動 費	印刷製本費	0	0	
		通信運搬費	0	0	
		借料損料	0	2,000	格原所「たねのこども館」 リインテグレーション 7-9月 70冊 室料
		消耗品費	0	0	
		雑役務費	0	0	
		子どもの活動費計	0	2,000	
経 費	広 報 等 事 務 費	印刷製本費	60,000	60,000 47% 20冊 x 3000枚	
		通信運搬費	16,000	17,200 47% 申込書 発送料	
		借料損料	30,000	1,000 格原所「たねのこども館」 事前会議用 室料	
		保険料	10,000	0	
		消耗品費	0	0	
		雑役務費	10,000	0	
		広報等事務費計	126,000	84,200	
助成対象経費合計(A)		212,000	182,340		
助成対象外経費(B)		174,000	156,863	食費・自然観察・木工用消耗品・記録用紙製作費 自然観察用消耗品 7711円 食食用消耗品・食料 25,737円 木工用材料費・木工用消耗品 30,678円 写真現像代 16,773円 救急医薬品 瓶代 5,904円 記録用紙・CD-ROM製作費 70,000円	
支出の部総額(C) (A+B)		386,000 円	339,143 円		

(再掲)

事項	交付決定時積算額(a)	決算額(b)	差額(b-a)	(b-a) ÷ a × 100
企画・会議費	86,000 円	96,140 円	10,140 円	11.79 %
子どもの活動費	0	2,000	2,000	0
広報等事務費	126,000	84,200	-41,800	-33.17

整理番号 0310414







平成15年度 子どもゆめ基金  
助成金支払申請書  
(子どもの体験活動助成)

平成16年 1月27日

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長 殿

住所 〒 <sup>630-8133</sup> 奈良市大安寺1-23-1 県解放のろ-内  
団体名 特定非営利活動法人  
代表者職・氏名 ほっとねっと (HOT-NET) (記名押印又は署名)  
理事長 伊藤 満



平成15年5月19日付け、国青基助第5-4号で助成金交付の決定通知を受けました助成活動について、子どもゆめ基金助成金交付要綱第15条の規定に基づき、下記のとおり助成金の支払いを申請します。

記

- 1. 助成活動名 み-とび-とりの森 夏休み 自然探検隊活動
- 2. 助成金確定額 165,143 円  
(内、概算払助成金受領額 165,143 円)
- 3. 助成金の支払申請額 165,143 円
- 4. 助成金振込先

金融機関名: 南都 銀行 信用金庫 本店  
農業協同組合 県庁出張所 支店

預金種類:  普通 / 当座 (どちらかに○印を付してください)

口座番号: 47287

(フリガナ) (トクテイセイイリカソドウホウジン ホットネット リジキョウ イトウシカレ)

口座名義: 特定非営利活動法人  
-----ほっとねっと(HOT-NET)-----

5. その他 理事長 伊藤 満

(注) 1. 助成金は、団体が開設した預金口座以外には振り込むことができません。  
2. 預金通帳表紙及び表紙の裏面の写しを添付してください。

整理番号 0310414

平成15年度子どもゆめ基金助成活動実績報告書  
(子どもの体験活動助成)

平成15年 10月 日

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長 殿

住 所 〒630-8133

奈良市大安寺1-23-1 県解放センター内

団 体 名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

代表者職・氏名 伊藤 満

(記名押印又は署名)

平成15年5月19日付け、国青基助第5-4号で助成金交付の決定通知を受けました助成活動の実績について、子どもゆめ基金助成金交付要綱第17条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動 (交付決定時と同じ活動名)
2. 助成活動の総実施期間  
平成15年 8月10日(日)～平成15年 8月 10日(日) 全活動回数 1回
3. 助成活動の実施状況等 (様式第11号 その2)
4. 助成活動の収支決算等 (様式第11号 その3, その4)

フリガナ きたば よしみ

連絡担当者氏名：北場好美

電 話：0742-64-0015

F A X：0742-64-1640

所 属：ほっとねっと理事

夜間連絡先：0744-23-7745

E - m a i l：hotnet@bllnara.jp

(注) 助成活動により刊行した印刷物又は配布した成果物がある場合は、

1部提出してください。

整理番号 0310414

体験活動

【活動の実施状況】 ( / 枚中 / 枚)		団体名	特定非営利活動法人 ほっとねっと
活動名	ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動		
活動分野	(子どもを対象とする体験活動)		
主なもの	㊟. 自然体験活動                      ㊦. 社会奉仕体験活動                      ウ. 職場体験活動 エ. 科学技術体験活動                      オ. 交流体験活動 カ. その他 ( )		
1つに◎	(子どもの体験活動の支援活動)		
他のものに○	キ. 指導者養成                      ク. 振興普及活動 ケ. その他 ( )		
実施期間	平成 15年 8月 10日 (日) ~ 平成 年 月 日 ( ) (1回)		
【活動の参加実績】 外部指導者 (講師) 延べ 3名, 団体構成員延べ 10名			
参加人数 (子ども) 延べ 11名, (大人) 延べ 名			
【交付決定時計画】 外部指導者 (講師) 延べ 3名, 団体構成員延べ 10名			
募集人数 (子ども) 延べ 30名, (大人) 延べ 名			
(活動実施プログラム)			
<p>8月10日は、午前9時に集合。日程説明等のあと、ワークショップで子ども自身による講師紹介、参加者紹介、開会宣言で活動を開始。</p> <p>午前9時30分から、「森をもっとしり隊 (自然観察)」と「虫魚つかまえ隊 (生き物採取)」の活動を一体のものとして実施。自然観察指導員を講師に、「ひーとびーとの森」にある植物、住んでいる生き物を観察して回りました。単に「見る」だけではなく、触り、匂いをかぎ、味わい、五感をフルに使って体で自然を感じるという体験をしました。また、アシナガバチ、クモ、トカゲ、コガネムジ等たくさんの生き物を子ども自身が見つけ、講師に鋭い質問をするといった光景も見られました。</p> <p>昼食は、「ひーとびーとの森」の特大グリルで、全員が輪になってパーベキューを楽しみ、交流を深めました。</p> <p>午後1時より、「作ってみ隊 (工作)」の活動にうつり、二人の講師から指導を受け「木の枝ペン立て」と「森のカレンダー」を作りました。失敗しても何度もやり直しができ、道具も、アドバイスするスタッフも豊富にいたので、子ども達は思いきり作品づくりにトライすることができ、最後には全員が思い思いの作品を作りました。</p> <p>午後5時、最後にみんなで記念撮影をして、終了しました。</p> <p>活動の様子は、9月1日発行の会報「HOT NET PRESS」に掲載し、会員をはじめ各方面に配付するとともに、報告書とCD-ROMを作成、子ども会や児童館に配付するとともに、ほっとねっとの活動紹介等で活用することにしています。</p> <p>なお、事前準備として6月21日に現地にて下見と打ち合わせ会議を行いました。</p>			
(具体的な活動内容等がわかるよう、詳細に記入してください)			
(活動実施プログラムの交付決定時との相違点)			
<p>当初予定では、8月9日に開催の予定で、子ども約30人の申し込みがありました。当日は台風10号による雨のため開催できず、予備日としていた翌10日に開催しました。日程変更になったことで、子どもの参加人数が減り、3つの隊に別れて活動するという当初の予定を変更して、一つの隊で三つのプログラムをこなすことにしました。また、台風の影響による河川の増水で、川での生き物観察は十分に実施することができませんでした。</p>			
注1 振替活動申込書は		活動レポートを作成してください	
		整理番号	0310414

【活動の実施状況】 ( /枚中 /枚)	団体名	特定非営利活動法人 ほっとねっと
活動名	ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動 (交付決定時と同じ活動名)	
<p>(活動場所の概要)</p> <p>活動場所：奈良県宇陀郡榛原町八滝、「ひーとびーとの森」</p> <p>場所概要：NPOほっとねっとが地主から借りて整備・運営している12000坪の山林。</p>		
<p>(指導体制)</p> <p>指導者名：田代 貢 (自然観察講師/NACS-J自然観察指導員奈良連絡会)、阪田はつみ (工作講師/奈良市杏人権文化センター職員)、阪田 順 (工作講師/奈良市辰市人権文化センター職員)</p> <p>指導体制：上記外部講師とNPOほっとねっとのスタッフ10人で子どもの活動をサポート。基本的には子どもの自主性を重視し、自らの体験を通じて自然への興味関心や自立心、協調性を育むと言うねらいから、大人の関わりは、なるべく少なくしました。</p>		
<p>(募集活動の実施状況)</p> <p>募集対象：奈良県内の小学3年生～6年生</p> <p>募集地区：奈良県内。</p> <p>募集方法：県内の児童館、子ども会等に案内状を郵送。チラシ3000枚を作成し、関係機関に配付。インターネットでイベント開催のお知らせ。</p>		
<p>(活動の自己評価)</p> <p>当初予定の8月9日は、台風のため翌日に日程変更となり、子どもの参加が大幅に減ってしまったのと、スケジュールを一部変更しなければならなくなったのは残念でしたが、参加してくれた子ども達は、普段できない体験ができた、と大喜びしてくれました。後日、保護者の方々からもお礼の手紙やメールをいただき、やった甲斐があったと実感しています。</p> <p>子ども達には、自然と触れあうことを通して、自然への興味関心を高め、自然の中で仲間とあそぶことの楽しさを伝えました。子ども達は「ともだちができてよかった」等と感想を述べ、家に帰ってから家族や友人にこの体験を楽しそうに話していることが報告されています。</p> <p>反省点としては、①急な日程変更のケースをあまり想定していなかったために、人数減や計画変更を生じてしまったこと、②参加者募集で、もう少し関係機関への働きかけ、趣旨の徹底等ができればよかった、等がありますが、ほっとねっとのスタッフもやったことへの満足感が次への自信にもつながり、さらに積極的な活動展開に意欲を燃やしています。100満点で80点ぐらいの評価ができるのではないかと考えています。</p> <p>(平成14年度以前から子どもゆめ基金の助成金の交付を受けて実施している場合には、その実績をふまえて工夫や改善した点なども記入してください)</p>		
<p>(今後の課題)</p> <p>報告冊子とCD-Rを活用してもらって、さらに「森」での活動展開を積極的にすすめ、子ども達の健全育成と自然環境への興味関心や仲間意識、人権意識の高揚をはかりたいと考えています。</p> <p>「森」を利用したプレイパーク(冒険遊び場)づくり、や「国連持続可能な開発のための教育の10年」の取り組みなども積極的にすすめて行きます。</p>		
<p>(その他)</p>		

整理番号

0310414

注1. 複数活動する場合は、1活動ごとに作成してください。

団体名 特定非営利活動法人 ほっとはと

1. 支出の部 (様式第11号その3の金額を記入する)

項 目	金 額	備 考
A. 助成対象経費合計	182,340 円	
B. 助成対象外経費	156,800 円	
C. 支出の部総額	339,140 円	(A+B)

2. 収入の部 (子どもゆめ基金助成金を除く。概算払を受けた団体はその預金利息をここに計上しないこと。)

項 目	金 額	内 訳
D. 参加費収入	11,000 円	1,000円 × 11人
E. 団体負担金	160,000 円	団体負担金
F. 補助金・寄付金等その他の収入	0 円	
G. 助成金以外の収入合計額 ※1	174,000 円	(D+E+F)

※1: G ≥ B であること。

3. 助成金の算出

(1) 助成金交付決定額及び助成金概算払額 (概算払を受けた団体はその預金利息をここに計上すること。)

J. 助成金交付決定額 ※2	212,000 円
K. うち、概算払を受けた金額	円
M. 概算払により生じた預金利息	円

※2: 「助成金交付決定通知」で示された金額を記入する。

「計画変更承認」を受けた場合は計画変更通知書で示された「変更決定額」を記入する。

(2) 助成金額の基礎

項 目	金 額	備 考
N. 助成対象経費 (利息控除分)	182,340 円	(A-M)
J. 助成金交付決定額	212,000 円	
P. 収支差額 ※3	165,140 円	(C-G-M)

※3: A ≥ P であること。

(3) 助成金額の確定

項 目	金 額	備 考
Q. 助成金確定額	165,140 円	N, J, Pの最も低い額

4. 助成金精算払金額又は返納額の算出

助成金精算金額又は返納額 ※4	円	(Q) - (K)
-----------------	---	-----------

※4: 概算払を受けていない団体はQの数字をそのまま記入すること。

(Q) - (K) がマイナスになる場合は△を数字の頭に付けて記入すること。

整理番号 0310414

体験活動

団体名 特定非営利活動法人 ぽるとねと

事項・経費項目		交付決定時積算額	決算額	決算額内訳		
支出の部	企画・会議費	謝金	60.000 円	60.000 円	20.000円 × 3人	
		旅費	26.000	36.140	別紙	
		会議費	0	0		
		企画会議費計	86.000	96.140		
	助成対象の経費	子どもの活動費	印刷製本費			
			通信運搬費			
			借料損料			
			消耗品費			
			雑役務費			
			子どもの活動費計			
	助成対象外経費 (B)	広報等事務費	印刷製本費	60.000	60.000	9/27 20円 × 3000枚
			通信運搬費	16.000	29.200	
			借料損料	30.000	0.000	橋原町 ぽるとねと 館 2回
			保険料	10.000	0	
			消耗品費	0	0	
			雑役務費	10.000	0	
			広報等事務費計	126.000	89.200	
			助成対象経費合計 (A)	212.000	182.340	
	助成対象外経費 (B)		174.000	156.800	合費. 本 自然観察等材料費等	
	支出の部総額 (C) (A+B)		386.000 円	339.140 円		

(再掲)

事項	交付決定時積算額(a)	決算額(b)	差額 (b - a)	(b - a) ÷ a × 100
企画・会議費	86.000 円	96.140 円	10.140 円	11.79%
子どもの活動費	0	0	0	0
広報等事務費	212.000	182.340	-29.660	-13.99

整理番号 0310414



平成15年度子どもゆめ基金体験活動活動収支簿

160 /

活動名:

団休名: 特定非営利活動法人 ぽるといふて

日付	項目	番号	収入	支出	残額	企画・会議費				子どもの活動費						広報等事務費				助成対象 外経費							
						出金	旅費	会議費	印刷製本費	通信運送費	燃料損料	消耗品費	宿泊費	印刷製本費	通信運送費	燃料損料	旅費	燃料損料	通信運送		印刷製本費						
6/1	団体資金送		400.000		400.000																						
6/15	果因状発送	①		4,320	395,680																						
6/21	預地協会のせ成旗	②		11,200	384,480																						
6/21	" 国旗旗	③		1,000	383,480																						
6/27	果因状追加発送	④		4,880	378,600																						
7/9	案内状4シ、申込書配布	⑤		14,000	364,600																						
8/1	紙代	⑥		672	363,928																						
"	自然観察用消耗品費	⑦		2,881	361,047																						
8/6	"	⑧		4,830	356,217																						
"	食庫用消耗品費	⑨		3,780	352,437																						
"	"	⑩		5,232	347,205																						
"	木工用利費等	⑪		29,523	317,682																						
"	食庫用消耗品費等	⑫		1,953	315,729																						
8/7	木工用消耗品費	⑬		1,155	314,574																						
"	緊急治療品等	⑭		5,502	309,072																						
8/8	食料費	⑮		14,502	294,570																						
8/10	参加費		11,000		305,570																						
"	27.7.講師、旅費	⑯		24,940	280,630																						
"	会議室、借用費	⑰		2,000	278,630																						
"	講師謝金	⑱		60,000	218,630																						
8/9	47シ印刷費	⑲		60,000	158,630																						
9/2	写真現像代	⑳		1,023	157,607																						
9/30		㉑		15,750	141,857																						
小 計																											
合 計																											
													総理番号		0310414												

平成15年度子どもゆめ基金体験活動活動収支簿

活動名: 認定NPO法人 居とねと

No. 2

日付	項目	番号	収入	支出	残額	企画・会議費			子どもの活動費				広報等事務費					助成対象外経費			
						租金	旅費	会議費	印刷製本費	通信運搬費	備料掛料	消通費	雑居費	雑居料	出張費	通信運搬費	印刷製本費		通信用紙費	備用品	雑居費
	活動記録(母子 CP-POM) ①②			70,000	71,857															70,000	
小計						60,000	36,140	0													
合計																					146,823
														整理番号		0310414					

別紙3

様式第11号(第17条関係) その1

平成15年度子どもゆめ基金助成活動実績報告書  
(子どもの体験活動助成)

平成15年 10月 日

独立行政法人国立オリンピック記念  
青少年総合センター理事長 殿

住 所 〒630-8133

奈良市大安寺1-23-1 県解放センター内

団 体 名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

代表者職・氏名 伊藤 満 (記名押印又は署名)

平成15年5月19日付け、国青基助第5-4号で助成金交付の決定通知を受けました助成活動の実績について、子どもゆめ基金助成金交付要綱第17条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 助成活動名 ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動 (交付決定時と同じ活動名)
2. 助成活動の総実施期間  
平成15年 8月10日(日)～平成15年 8月 10日(日) 全活動回数 1回
3. 助成活動の実施状況等 (様式第11号 その2)
4. 助成活動の収支決算等 (様式第11号 その3, その4)

フリガナ きたば よしみ

連絡担当者氏名：北場好美  
電 話：0742-64-0015  
F A X：0742-64-1640

所 属：ほっとねっと理事  
夜間連絡先：0744-23-7745  
E - m a i l：hotnet@bllnara.jp

(注) 助成活動により刊行した印刷物又は配布した成果物がある場合は、

1部提出してください。

整理番号	0310414
------	---------

体験活動

【活動の実施状況】 ( 枚中 枚)	団体名 特定非営利活動法人 ほっとねっと
活動名	ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動 (交付決定時と同じ活動名)
<p>(活動場所の概要)</p> <p>活動場所：奈良県宇陀郡榛原町八滝、「ひーとびーとの森」</p> <p>場所概要：NPOほっとねっとが地主から借りて整備・運営している12000坪の山林。</p>	
<p>(指導体制)</p> <p>指導者名：田代 貢 (自然観察講師/NACS-J自然観察指導員奈良連絡会)、阪田はつみ (工作講師/奈良市杏人権文化センター職員)、阪田 順 (工作講師/奈良市辰市人権文化センター職員)</p> <p>指導体制：上記外部講師とNPOほっとねっとのスタッフ10人で子どもの活動をサポート。基本的には子どもの自主性を重視し、自らの体験を通じて自然への興味関心や自立心、協調性を育むと言うねらいから、大人の関わりは、なるべく少なくしました。</p>	
<p>(募集活動の実施状況)</p> <p>募集対象：奈良県内の小学3年生～6年生</p> <p>募集地区：奈良県内。</p> <p>募集方法：県内の児童館、子ども会等に案内状を郵送。チラシ3000枚を作成し、関係機関に配付。インターネットでイベント開催のお知らせ。</p>	
<p>(活動の自己評価)</p> <p>当初予定の8月9日は、台風のため翌日に日程変更となり、子どもの参加が大幅に減ってしまったのと、スケジュールを一部変更しなければならなくなったのは残念でしたが、参加してくれた子ども達は、普段できない体験ができた、と大喜びしてくれました。後日、保護者の方々からもお礼の手紙やメールをいただき、やった甲斐があったと実感しています。</p> <p>子ども達には、自然と触れあうことを通じて、自然への興味関心を高め、自然の中で仲間とあそぶことの楽しさを伝えました。子ども達は「ともだちができてよかった」等と感想を述べ、家に帰ってから家族や友人にこの体験を楽しそうに話していることが報告されています。</p> <p>反省点としては、①急な日程変更のケースをあまり想定していなかったために、人数減や計画変更を生じてしまったこと、②参加者募集で、もう少し関係機関への働きかけ、趣旨の徹底等ができればよかった、等がありますが、ほっとねっとのスタッフもやったことへの満足感が次への自信にもつながり、さらに積極的な活動展開に意欲を燃やしています。100満点で80点ぐらいの評価ができるのではないかと考えています。</p> <p>(平成14年度以前から子どもゆめ基金の助成金の交付を受けて実施している場合には、その実績をふまえて工夫や改善した点なども記入してください)</p>	
<p>(今後の課題)</p> <p>報告冊子とCD-Rを活用してもらって、さらに「森」での活動展開を積極的にすすめ、子ども達の健全育成と自然環境への興味関心や仲間意識、人権意識の高揚をはかりたいと考えています。</p> <p>「森」を利用したプレイパーク (冒険遊び場) づくり、や「国連持続可能な開発のための教育の10年」の取り組みなども積極的にすすめて行きます。</p>	
<p>(その他)</p>	

整理番号 0310414

注1. 複数活動する場合は、1活動ごとに作成してください。

体験活動

【活動の実施状況】 ( 枚中 枚) 団 体 名 特定非営利活動法人 ほっとねっと

活動名	ひーとびーとの森 夏休み子ども自然探検隊活動
活動分野	(子どもを対象とする体験活動)
主なもの	㊦. 自然体験活動      ㊧. 社会奉仕体験活動      ウ. 職場体験活動
1つに◎	エ. 科学技術体験活動      オ. 交流体験活動
他のもの	カ. その他 ( )
に○	(子どもの体験活動の支援活動)
	キ. 指導者養成      ク. 振興普及活動
	ケ. その他 ( )

実施期間 平成 15年 8月 10日 (日) ~ 平成 年 月 日 ( ) (1 回)

【活動の参加実績】 外部指導者 (講師) 延べ 3名, 団体構成員延べ 10名  
 参加人数 (子ども) 延べ 11名, (大人) 延べ 名

【交付決定時計画】 外部指導者 (講師) 延べ 3名, 団体構成員延べ 10名  
 募集人数 (子ども) 延べ 30名, (大人) 延べ 名

(活動実施プログラム)

8月10日は、午前9時に集合。日程説明等のあと、ワークショップで子ども自身による講師紹介、参加者紹介、開会宣言で活動を開始。

午前9時30分から、「森をもっとしり隊 (自然観察)」と「虫魚つかまえ隊 (生き物採取)」の活動を一体のものとして実施。自然観察指導員を講師に、「ひーとびーとの森」にある植物、住んでいる生き物を観察して回りました。単に「見る」だけではなく、触り、匂いをかぎ、味わい、五感をフルに使う体で自然を感じるという体験をしました。また、アシナガバチ、クモ、トカゲ、コガネムジ等たくさんの生き物を子ども自身が見つけ、講師に鋭い質問をするといった光景も見られました。

昼食は、「ひーとびーとの森」の特大グリルで、全員が輪になってバーベキューを楽しみ、交流を深めました。

午後1時より、「作ってみ隊 (工作)」の活動にうつり、二人の講師から指導を受け「木の枝ペン立て」と「森のカレンダー」を作りました。失敗しても何度もやり直しができ、道具も、アドバイスするスタッフも豊富にいたので、子ども達は思いきり作品づくりにトライすることができ、最後には全員が思い思いの作品を作り上げました。

午後5時、最後にみんなで記念撮影をして、終了しました。

活動の様子は、9月1日発行の会報「HOT NET PRESS」に掲載し、会員をはじめ各方面に配付するとともに、報告書とCD-ROMを作成、子ども会や児童館に配付するとともに、ほっとねっとの活動紹介等で活用することとしています。

なお、事前準備として6月21日に現地にて下見と打ち合わせ会議を行いました。

(具体的な活動内容等がわかるよう、詳細に記入してください)

(活動実施プログラムの交付決定時との相違点)

当初予定では、8月9日に開催の予定で、子ども約30人の申し込みがありましたが、当日は台風10号による雨のため開催できず、予備日としていた翌10日に開催しました。日程変更になったことで、子どもの参加人数が減り、3つの隊に別れて活動するという当初の予定を変更して、一つの隊で三つのプログラムをこなすことになりました。また、台風の影響による河川の増水で、川での生き物観察は十分に実施することができませんでした。